県内の環境試料からの高病原性鳥インフルエンザウイルス検出に係る鹿児島県知事メッセージ

令和８年１１月６日

１１月２日に出水市で採取された環境試料（水）から、高病原性鳥インフルエンザウイルスが、本日、検出されました。

回収地点の周辺半径１０ｋｍ圏内は、環境省の野鳥監視重点区域の指定に伴い、国・県・出水市が連携して野鳥の監視を強化します。

県民の皆様には、死亡した野鳥を発見しましたら、素手で触ることなく、お近くの県地域振興局か市町村役場に連絡くださるようお願いします。

また､既に環境中のウイルス濃度が高くなっている可能性があり、高病原性鳥インフルエンザが養鶏場で発生するリスクが一層高まっており、最大限に警戒する必要があります。

養鶏農家の皆様や関係団体の皆様には、飼養衛生管理基準の遵守徹底を改めてお願いするとともに、引き続き、野生動物の誘引防止対策や入気口へのフィルター設置等の塵埃(じんあい)対策などに重点をおいた防疫対応をお願いいたします。

養鶏は、農業産出額が１，４００億円を超える、本県の基幹産業であり、絶対に家きん農場への侵入を防がなければなりません。

高い防疫意識を持って、県民の皆様や関係機関・団体が一丸となって、野鳥監視の強化と家きん農場への侵入防止対策に万全を期してまいります。

担当課	家畜防疫対策課　課長　米丸俊朗　電話：099-286-3352（直通） 自 然 保 護 課　課長　川瀬　翼　電話：099-286-2610（直通）